

少年

第485号(1) 令和8年8月発行



山 梨 県 警 察 本 部
生活安全部 人身安全・少年課
甲府市丸の内1-6-1
055-221-0110 内線3082
少年対策官 西川 卓

友情について～会えない夏休みだからこそ～

「スタンド・バイ・ミー」や「走れメロス」など、友情をテーマにした映画や小説は数多く存在します。これらの作品が長く愛されるのは、友情が成長に欠かせないものであるからです。私自身、友との出会いと別れを経験し、ある友から屈託のない明るさを学び、ある友から素直な気持ちを語ることを学び、ある友からは正義感と努力を惜しまない姿勢を学びました。今では会うことのない彼らから受け取ったものの大きさを思うと、別れにも価値があったと感じます。

親しくなるほど、友の長所と短所が見えてきます。例えば、運動が得意、知識が豊富、誰にでも公平に接する心、勉強が苦手、人前で話すことを避けるなど。友として長所と短所を知り尽くしているからこそ、互いを認め、カバーやフォローし合うことができるのだと思います。また、自分にはない友の力に嫉妬することも、友を認めているからこそ生まれる感情です。良いところを真似て自分に取り入れることは決して悪いことではありません。友から得られるものは実に多様です。競い合いながら高め合うのが友であり、共に成長することが友であると思います。

しかし、友情は繊細なものです。たった一言で失うこともあります。友は気を遣わない相手ではなく、むしろ友の幸せや成長を考える「気を遣いたくなる相手」であるべきだと考えます。相手の弱さを見つけて優位に立ち、見下すような態度をとってはいけません。「不変の友情」であると今の関係を過信せず、丁寧に育むことが大切です。また、「勉強をしない」「練習をさぼる」と言った甘えを肯定し合うだけの関係は、真の友情とは言えないと思います。

友情とは、人生の中で出会いと別れを繰り返しながら、自分を成長させてくれる大切なものです。限られた時間と場所で、経験を共有できる学生生活を大切にしてほしいと思います。友と毎日会えない夏休みだからこそ、友情について考え、より良い関係を深める時間にしてください。スマホの画面を見る時間より、友を見る時間を増やしてほしいと思います。そして、長い年月の先に再び出会ったときに、互いの共有した思い出と、その後の人生が語り合えるように、努力し続けてほしいと思います。

お盆などで祖父母や親戚が集まる貴重な機会の中で、大人たちが自分たちの「友情」について語ることも子どもたちの成長につながると思います。

熱中症に注意～暑さを工夫で乗り越える～

暑さ対策のために日傘をネットで探していると、「遮光性を重視したもの」や「小さく折りたためるもの」など種類が豊富で選ぶのに悩みました。最近では冷感ポンチョや冷却タオルなど新しい商品も増えています。また、ネットで検索してみると、空のペットボトルに水を入れて凍らせ首筋などに当てる方法や、扇風機やすだれなどを併用することでクーラーを効率よく使用する方法なども紹介されていました。しかし、これらの方法がどれだけの効果があるのかわかりません。これらのことを夏休みの自由研究などで、「部屋の温度を下げる方法」として取り組んでみるのも良いと思います。暑さで体調を崩さぬように、こまめな水分補給と休息を心がけ、家族みんなで暑い夏を楽しみながら安全に夏を過ごしてほしいと思います。

県下非行少年等・補導状況 上半期のまとめ

令和8年1月～6月までの県下非行少年等検挙・補導状況について、「非行少年」として補導された数は61人であり昨年同期に比べ13人減少しています。そのうち「刑法犯少年」は38人で、昨年同期に比べ19人減少。「特別法犯少年」は12人で、昨年同期に比べ8人増加となっています。また、「不良行為少年」は679人で55人増加となっています。

○「刑法犯少年」とは、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯、知能犯、風俗犯、その他の主に刑法で規定されている罪を犯した少年

○「特別法犯少年」とは、軽犯罪法違反、覚醒剤取締法違反、など刑法犯以外の罪を犯した少年

○「不良行為少年」とは、飲酒、喫煙、粗暴行為、暴走行為、家出、深夜はいかい、その他自己又は他人の徳性を害する行為をしている少年

「刑法犯少年」 38人の学職別

小学生	3人	(7. 9%)
高校生	8人	(21. 1%)
無職少年	4人	(10. 5%)

※中学生・高校生が半数近くを占める。

中学生	15人	(39. 5%)
有職少年	8人	(21. 1%)

「不良行為少年」 679人の学職別

小学生以下	23人	(3. 4%)
高校生	223人	(32. 8%)
その他学生	26人	(3. 8%)
無職少年	117人	(17. 2%)

※中学生・高校生が約半数を占める。

中学生	126人	(18. 6%)
大学生	22人	(3. 2%)
有職少年	142人	(20. 9%)

※主な不良行為

- ・「喫煙」257人、「深夜はいかい」227人であり「不良行為少年」の71. 3%を占める。
- ・「深夜はいかい」は昨年度175件に比べ52件増加している。

SNSでのやりとりに注意

学校の先生方に話を伺うと、学校内のトラブルで一番多いのはSNS関係のようです。以下は、「よくある代表的な SNS トラブル」です。夏休みなど学校などから離れ、直接顔を見ずに画面越しでのやりとりがさらにトラブルを招きます。また、コメントなどを SNS に載せる前に相手の気持ちを考えずに投稿することが主な原因です。相手の気持ちだけでなく、相手の家族の気持ちも考えて SNS を利用しましょう。保護者の方々もトラブルにならないようにご指導願います。

- 卒業アルバムなどの友達の写真を動物やキャラクターに加工して SNS に投稿した
- 自分の画像を要求され、しかたなく画像を渡すと許可なく SNS で拡散された
- メッセージやコメントの内容が相手にうまく伝わらず、相手が怒って、悪口をかかれた
- 別のアカウントをつくり、匿名で悪口を投稿した
- ムカついたので SNS で「消えろ」などの誹謗中傷をした
- オンラインゲームで友達とあおりあったら、現実の殴り合いのけんかになった
- オンラインゲームで知らない人と言ひ合いになり、トラブルに巻き込まれた

*冗談でも、相手を傷つけるだけでなく、場合によっては「いじめ」の原因にもなります。

*「肖像権の侵害」「侮辱罪」などで訴えられたり、罪になったりすることもあります。

*匿名での投稿でもサーバの記録から投稿した時間や端末の特定ができます。

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

http://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html